

留学史研究の現状について

中里見, 敬
九州大学大学院言語文化研究院

中村, みどり
早稲田大学商学学術院

<https://hdl.handle.net/2324/1958353>

出版情報 : 2018-10-03
バージョン :
権利関係 :

近年の中国側の研究動向

第二屆“留學生與中外文化”

國際學術研討會

主催：南開大學歷史學院、
南開大學中國留學教育研究中心

期間：2017年8月26-27日

※ 次ページ以降の報告の区分は、本発表の報告者による。

【アメリカ留学関連】

元青	民国时期留美生的中国问题研究
周棉	又宁教授与中美文化交流
余子侠	留美生与哥伦比亚大学教授施吹耳教育思想在中国的传播
叶维丽	浅谈以中国的名义寻求“现代”之路
林伟	清末官派留美运动之肇兴 ——1906年北洋大学资送学生留学哈佛大学考释
安宇	晚清留美学生与民国共和制度的确立
张连义	美国学术视域下的中国外交研究——以鲍明钤的英文著述为中心
余子侠 黄欢、石雯雯	光绪廿七年盛宣怀派遣八名学生随傅兰雅游美一事初考
李永胜	顾维钧与中国留美学生会
王金龙	民国时期留美生中国经济问题研究的海外影响 ——以留美生博士论文为中心的考察
刘晓琴	成志会与张伯苓
左玉河	中国科学社对民国学术之推进
吕光斌	民国时期中外学界视野里的留美生博士论文中国教育问题研究之评价
吴原元	略述20世纪30年代美国汉学留学生在华的活动及思考
胡志刚	战后美国之行与梁思成办学新思想的形成
岳婷婷	中美化学研究生项目（CGP）与当代中美文化交流

【欧州留学関連】

尹晓冬	20世纪上半叶留学英国的中国物理学家群体研究
杜卫华	民国留德大学校长的学术观与家国观——以蔡元培、胡庶华为中心
麦劲生	往返东西：二次大战结束前贺麟的思想漫游
邹振环	中国近代留学史上的伍光建

【日本留学関連】

王晓秋	留学生研究的学术史回顾
陈 健	留日生涯与中国现代新闻学的两位先驱——王拱璧、任白涛
范铁权	留日学生陈承泽生平史事述论
石 嘉	民国时期的警察留日教育研究（1928—1945）
田 涛	留日学界与清末民族观念的建构
张 琳	厄普顿·辛克莱进入中国之日本路径——以郁达夫、后期创造社为中心的考察
谭 皓	再论近代日本留华学生——以官派留学生为中心
徐志民	留学与独立——二战时期东南亚的“南方特别留学生”

【日本留学関連】

祁建民	周作人与新村主义在中国的传播
廖赤阳	金原省吾与傅抱石：东亚的人员移动与学知循环
孙安石	広東省留学生関連資料の紹介—從清末到1930年代為中心
周一川	民国时期留日学生统计资料分析 ——日华学会留学生名簿的史料价值
李思齐	偽滿洲国留学生予備教育の諸相-留学生予備校を通して
樂殿武	明治末期における清国人留学生の生活空間 —黄尊三『留学日記』を中心に
胡 穎	试论从清末到民国时期的留日经费问题 ——以1937年以前为中心
高田幸男	明治大学在近代中国留日学生中之位置
见城悌治	中国医药学留学生与近代日本 ——以千叶医专、医大毕业生为中心
山本一生	华北沦陷区日伪政权下北京高校留日归国人员的活动 ——以钱稻孙和周作人为中心
中村翠(みどり)	日本表象和民族意识——民国时期的畅销小说《留东外史》

近年の中国側の研究動向

紀念鄧小平拡大派遣留学生講話40周年 国際学術研討会《留学生与中国的現代化》

主催：江蘇師範大学

共催：珠海中国留学博物館、西安思源学院、
珠海市大成中天文化發展有限公司

協賛：留学生与近代中国研究中心、人文社会
科学研究院、「一帶一路」研究院など

期間：2018年5月18-21日

【アメリカ留学関連】

台湾 张玉法院士	留美归国学人与台湾高科技企业发展：1949—2018
珠海中国留学博物馆 沈荣国讲师	幼童留美教育若干重要史实补充订正——以“北洋纪事”档案为中心
广东江门县党校 宾睦新讲师	容闳诗歌考
南开大学 元青教授	民国时期留美生的中国经济问题研究缘起探析
华中师大 余子侠教授	清华学校时期女子“庚款”留美历史考析
清华大学 金富军教授	周诒春与清华早期留学生派遣
清华大学 谢喆平副教授	清华留美学人与中国现代教育学的滥觞
首都师大 尹晓冬教授	物理学之花——美国巴伯奖学金与中国八位女物理学博士
江苏师大 吕光斌博士	民国时期留美生博士论文与中国教育研究话语权的初建
西安思源学院 赵惠霞教授	关于抗战时期国民政府航空委员会在陕西招考留美空军研究
华东师大 吴原元副教授	新中国成立前夕留美中国史家归国原因探析
天津城建学院 胡志刚教授	战后美国之行与梁思成办学新思想的形成
陕西科技大 岳婷婷博士	邓小平与当代留美教育的重启
北外 杨钊博士	雷海宗的博士论文与芝加哥大学的西洋史学术传统
辽宁师大 杨晓教授	改革开放以来我国近代中英教育交流研究的主题及其拓展
海南师大 冯国平副教授	李政道在改革开放后中国留学潮重启中的作用

【欧州留学関連】

西安思源学院 李清讲师	留学经历与蔡元培美学思想的形成及西方美学的传播
陕西师大 马启民教授	从德国文化理想回归儒学：张君勱、贺麟和宗白华在二次大战后的思想轨迹
香港浸会大学 麦劲生教授	有关1930年代中国留德学人群体研究的几个问题
天津城建学院 胡志刚教授	改革开放以来我国近代中英教育交流研究的主题及其拓展

【日本留学関連】

辽宁师大 谭皓教授	教育交流与军事侦察：近代日本军方留华学生的对华侦察
中国社科院 徐志民研究员	明治维新与赴日留学
北外 杨炳菁博士	留日学生与无产阶级文学的翻译——以《蟹工船》为例
南京大学 王格格博士	早稻田大学清国留学生革命活动述论
河南大学 陈健副教授	新知与革命：《民报》时期革命派“民生主义论”之学术渊源
日本大学 小岛淑男教授	豫晋秦陇四省协会与辛亥革命
神奈川大学 孙安石教授	清国留学生会馆报告初探
神奈川大学 大里浩秋教授	关于日本的中国人日本留学史研究
日本千叶大学 见城悌治教授	战时日本的“伪满州国留日学生会”的活动——目的与现实

近年の中国側の研究動向

1. アメリカ留学研究の増加
2. 受け入れ国としての留中学生研究
3. 「一帯一路」と留学生政策

近年の中国側の研究動向

※ 欧美同学会・中国留学人員聯誼会

(1919年発足)

⇒2000年代以降 活動の活発化

政府の資金援助、「中国留学人才発展
基金会」設置、大型シンポジウム開催

分会として1999年に「留日同学会」結成

近年の中国側の研究動向

※ 「一帯一路」教育行動（2016年教育部制定）

⇒ 国家間の学費減免、英語での授業、
インターンシップの機会提供

“未来五年” 来中留学生1万名 奨学金

近年の中国側の研究動向

※ 膨大な資料のデータベース化

※ 豊富な資金

(海外派遣、シンポジウム開催、研究書刊行)

※ 研究対象の多様化、ただし、歴史観による制限とフォーマット

近年の日本側の研究動向

神奈川大学・ 中国人留学生史研究会

- ・研究例会：5～6回
 - ・拡大例会：1～2回
- 書籍刊行



※2017-2019年 共同研究奨励助成

「日中関係史と学知の交流——中国人留学生研究を中心に」

※ 2017-2019年 科研基盤B 「教育の交流と東アジア国際関係
——中国人留学生の派遣と支援」

※ 人文学研究叢書シリーズ

中国人留学生史研究会 拡大例会

主催：科研・教育交流(基礎B-一般、課題番号17H02686)

KU

「中国人留学生が直面した諸問題について」

2018年 3月3日(土)

午後 2:00~5:50

神奈川県横浜キャンパス3号館406室

司会：見城保治(千葉大学)

開催趣旨

報告

- (1) 「中国人留学生と大学院進学アドバイジングの課題」
白土悟(九州大学)
- (2) 「中国人海外留学の基本特徴と『留学博物館』
の建設計画について」
藤月国(中国教育部国際合作与交流司出国留学工作処)
- (3) 「社会主義国家・中国における女性個人の生の経路に関する一考察-来日留学生の聞き取り調査を中心に」
張蒼京子(静岡県立大学)
- (4) 「中国の「一帯一路」構想と国際教育交流政策の変化
:国家と個人のはざまに生きる留学生」王雪萍(東洋大学)



事前申し込み不要

KU 神奈川大学

【問い合わせ先】
〒221-8686 横浜市中区神奈川区大角橋2-27-1
神奈川大学中国語学科共同研究室
TEL: 045-481-5561 内線4025 FAX: 045-481-5553
EMAIL: sara001@kanagawa-u.ac.jp



「近代日中関係と留学生文学」

日時 2018年3月25日(日)14:00~18:00

【報告1】

日本留学経験者としての作家崔万秋—『新路』と『女兵の物語』を中心として
／董炳月 氏(中国社会科学院)

【報告2】

詩と愛国—留米の聞一多と留日の穆木天
／鄧捷 氏(関東学院大学)
コメント: 林麗婷 氏(同志社大学博士)、
樂殿武 氏(武蔵野大学)

【報告3】

創造社における“西洋”と“日本”(仮題)
／中村みどり(神奈川大学外国語学部)

【報告4】

欲望の生成と焦燥の克服—郭沫若の日本記憶および其の文学史的価値／李怡 氏(北京師範大学)
コメント: 大里浩秋(神奈川大学名誉教授)、
王俊文 氏(東京大学博士、早稲田大学)

研究書



近年の日本側の研究動向

1. テーマの細分化

- ・外交史、政治史、文学史
 - ⇒経費、住環境、教科書など
 - ◎個々の留学生生活を重視

2. 時代の細分化

- ・清朝末期、民国初期
 - ⇒日中戦争期、戦争直後、改革・開放以降

近年の日本側の研究動向

※ 個人情報情報の保護

⇔ 早稲田大学大学史資料センター(1998)、
明治大学史資料センター(2003)

※ 研究費獲得の困難

※ 在日中国人研究者の増加

若手の「満洲国」および淪陷区への興味

近年の日本側の研究動向

例1:

周一川『中国人女性の日本留学生史研究』

(国書刊行会、2000年)

劉建雲『中国人の日本語学習史 —— 清末の東文学堂』

(学術叢書、2005年)

鄒双双『「文化漢奸」と呼ばれた男

——万葉集を訳した**銭稻孫**の生涯』(東方書店、2014年)

例2:

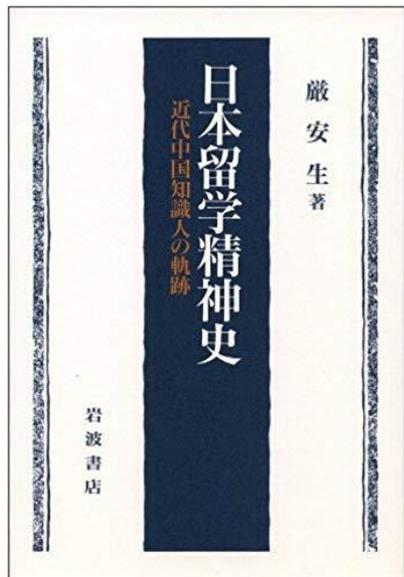
「中華学芸社の機関誌『学芸』(1917—1937)について」

「満洲国日本留学生統計資料に関する研究」

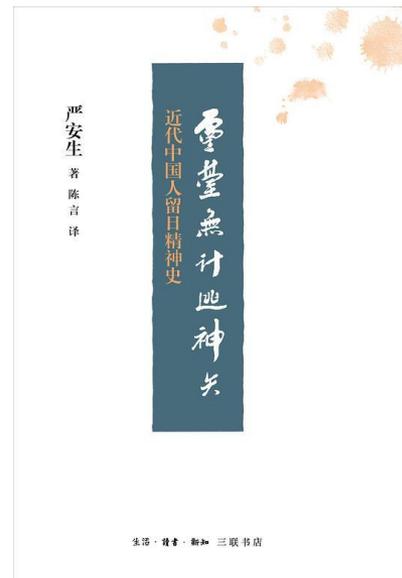
「余計者としての留日学生——**張資平**『一班冗員的生活』を中心に」

今後の展望

- 中国側の研究成果と情報の吸収
- 日本側の研究成果の発信(中国語・英語)
- 共同研究(次世代へつなぐ)



1991年刊行



2018年刊行